

# 採用事例 E-DRIVE ピッキングトロリー



**TENTE**

BETTER MOBILITY. BETTER LIFE.

# 新しい道を切り開く スマートソリューション

TENTEの顧客 Esselte Leitz社は商品をピックするカートに当社の電動アシストユニット E-Drive システムを装備するという大胆な施策を実施しました。このスマートなソリューションにより、従業員は大量の商品を楽に運ぶことができるようになり、生産性が向上するだけでなく、歩行距離も80%も短縮されました。

## 原点

Esselte Leitz GmbH & Co KGはAcco Brands Corporationに属し、ファイルフォルダーなど革新的な事務用品で知られています。同社は顧客に24時間配送サービスを提供しており、午後1時までには受けた注文は当日発送されます。そのためには、人員と設備配置の両面において、可能な限り高い柔軟性が求められます。

## 時間を消費するプロセスと多すぎるルート

Esselte Leitz社は、年間170万件の注文品を出荷し、年間600万件の商品のピッキングを記録しています。これは、従業員が総重量4万トンの商品を扱っていることを意味します。そのため、同社は労働条件の最適化とオーダーピッキングの効率化に継続的に取り組んでいます。この改善プロセスの過程で、担当者はオーダーピッキングの既存のコンセプトを近代化し、いわゆるタクトタイムシステムを導入しました。これにより、できるだけ少ない労力で出荷を整理できるようになりました。この転換の過程で、電動産業用トラックによる商品輸送も見直されることになりました。

Esselte Leitz社 は、技術リソースの活用を大幅に改善し、オーダーピッキングに要する時間を短縮したいと考えていました。その目的は、1分単位で柔軟にキャパシティを拡大できるようにすることでした。これを実現するため、同社は自力で移動するオーダーピッキングトロリーの使用を決定しました。積載時の重量は400kgにもなるため、重い荷物を楽に移動・操作できるソリューションが必要になりました。





## スマートモビリティソリューション

重いオーダーピッキング台車は、従業員に負担をかけずに素早く移動させる必要があります。同時に、台車は操作が簡単で、完璧な操縦性を備えていなければなりません。TENTEは様々な角度から状況を想定し、駆動特性、作業プロセス、人間工学的な側面などを考慮しました。

その解決策が、Esselte Leitz との緊密な協力により特別に適合された当社の電動アシストユニット E-Drive です。このシステムには強力な電気モーターが搭載されており、つまみを回すだけでオーダーピッキングカートを動かすことができます。速度は前後とも調整可能です。従業員は重い荷物を簡単、迅速、快適に移動させることができます。補助が不要な場合、E-Driveの駆動輪は自動的に収納されます。顧客の具体的なニーズを満たすため、当社の担当チームが作業環境に合わせて速度など調整しました。同時に、システム全体を見渡し、既存のキャスターそのものの見直しを検討しました。特に低騒音のキャスターを選択し、精密ボールベアリングと天然ゴム製ホイールのおかげで、オーダーピッキングトローリーの駆動特性を大幅に改善することができました。

人間工学も決定的な役割を果たしました。E-Driveのバッテリーは最適な高さに設置され、コントロールハンドルは人間工学に基づいて設計され、最適な操作位置に設置されました。こうしてEsselte Leitz は、すべてのコンポーネントが互いに完璧にマッチした完全なシステムソリューションを手に入れたのです。

## 最適化されたプロセス、コスト削減、生産性向上

新しいオーダーピッキングシステムにより、Esselte Leitz の従業員は、作業中の移動距離を大幅に減らすことができました。産業用トラックの使用が減ったことにより、同社は修理、メンテナンス、トレーニングのコストを節約できました。さらに、E-Driveの駆動システムの高効率バッテリーは、電力消費を大幅に削減します。



TENTEが提供する柔軟で簡単にコントロールできるE-Driveソリューションは、当社の改善アプローチに非常に適しています。

Esselte Leitz ロジスティクスディレクター  
アクセル・ツルケ氏

TENTE のソリューションとオーダーピッキング台車の完璧な組み合わせのおかげで、機動性を向上させるだけでなく、作業プロセス全体を最適化し、運用コストを削減し、生産性を大幅に向上させることができました。







[www.tente.com](http://www.tente.com)



生産性



安全性



デザイン



耐久性



環境